

地域産業復旧復興支援事業 釜石商工会議所(岩手県)

「釜石産品販路拡大販売支援事業（釜石応援物産展）」

【事業目的】

東日本大震災後、札幌商工会議所より事業者復旧支援として、経営指導員の派遣によるご支援をいただいた。また、釜石の食品製造事業では、震災の影響で三陸地域の食材を使うことが出来ず、北海道産の食材で商品開発を行い、釜石と北海道のつながりが強くなっていました。

これを契機に札幌と釜石の経済交流として、札幌商工会議所が主催する釜石市の食品製造事業所の商品をテスト販売することとなっております。

現在、釜石市では、被災した食品製造事業所はほぼ復旧してきており、販売できる商品が増えてきておりますが、釜石市の事業者においては、震災前より、地元の素材を活かした商品開発力の不足や販売促進の力がないという課題がありました。

本事業において、札幌商工会議所のコミュニティスペースを活用し、釜石市の物産品の販売コーナーを設置し、釜石の特産品をPRする機会とすること、また、海産物のブランド力がある北海道・札幌市民に三陸の海産物のイメージを調査する。この結果を釜石市の食品製造事業者へフィードバックすることによる商品開発力の向上及び販路拡大につなげることはもとより、今後、北海道、三陸地域の2大ブランドが連携した商品開発に繋がることを目的とする。

【事業実施状況・成果】

開催日：平成25年7月25日～31日（6日間開催）
場 所：さっぽろ地下鉄オーロラタウン
札幌商工会議所コミュニティスペース
販売数：12事業者26商品
売 上：586,936円

当初用意していた商品が飛ぶように売れ、追加発注しながら販売を行い、最終日は、閉店2時間前に全商品が完売となり大盛況でした。たくさんの方々に来店いただき、釜石産品を販売しながら、ポスター、チラシ、パンフレットを使い、その他の商品もPRいたしました。

また、津波の被害状況、復興状況をパネルやDVDの映像を流しながら説明した他、釜石をPRするパンフレット、ポスターを掲示し、釜石の観光スポット、郷土芸能(虎舞)の紹介も併せて行いました。

（成果）

釜石の特産品のみならず、釜石の観光を併せてPRすることで、市全体の認知度をさらに高めることができ、来場者に非常に好評でありました。物産と合わせた観光案内は効果的なPRの場となり、さらには、観光客の増加や事業者の販路拡大の足がかりとなったものと期待しております。

また、来場者は比較的年配者が多く、若年者はあまり関心がないと感じられたが、今後、釜石産品の消費拡大や販路拡大には、若年者層の開拓も必要となることから、新商品開発と連動しながら広くPRしていきたい。物産展の開催は継続して行うことにより、知名度の向上、販路拡大等の効果が現れるものであるため、来年も開催したい。

【今後予想される事業効果】

物産展でのPRを通じ、釜石市全体の認知度の向上により、今後、釜石産品の消費拡大や観光客の増加が見込まれ、事業者の経営基盤の強化、産業の活性化が図れる。

また、今後事業を続けることで、より正確な顧客ニーズを把握し、商品開発力の向上及び販路拡大の一助となることはもとより、北海道、三陸地域の2大ブランドが連携した商品開発につながる。